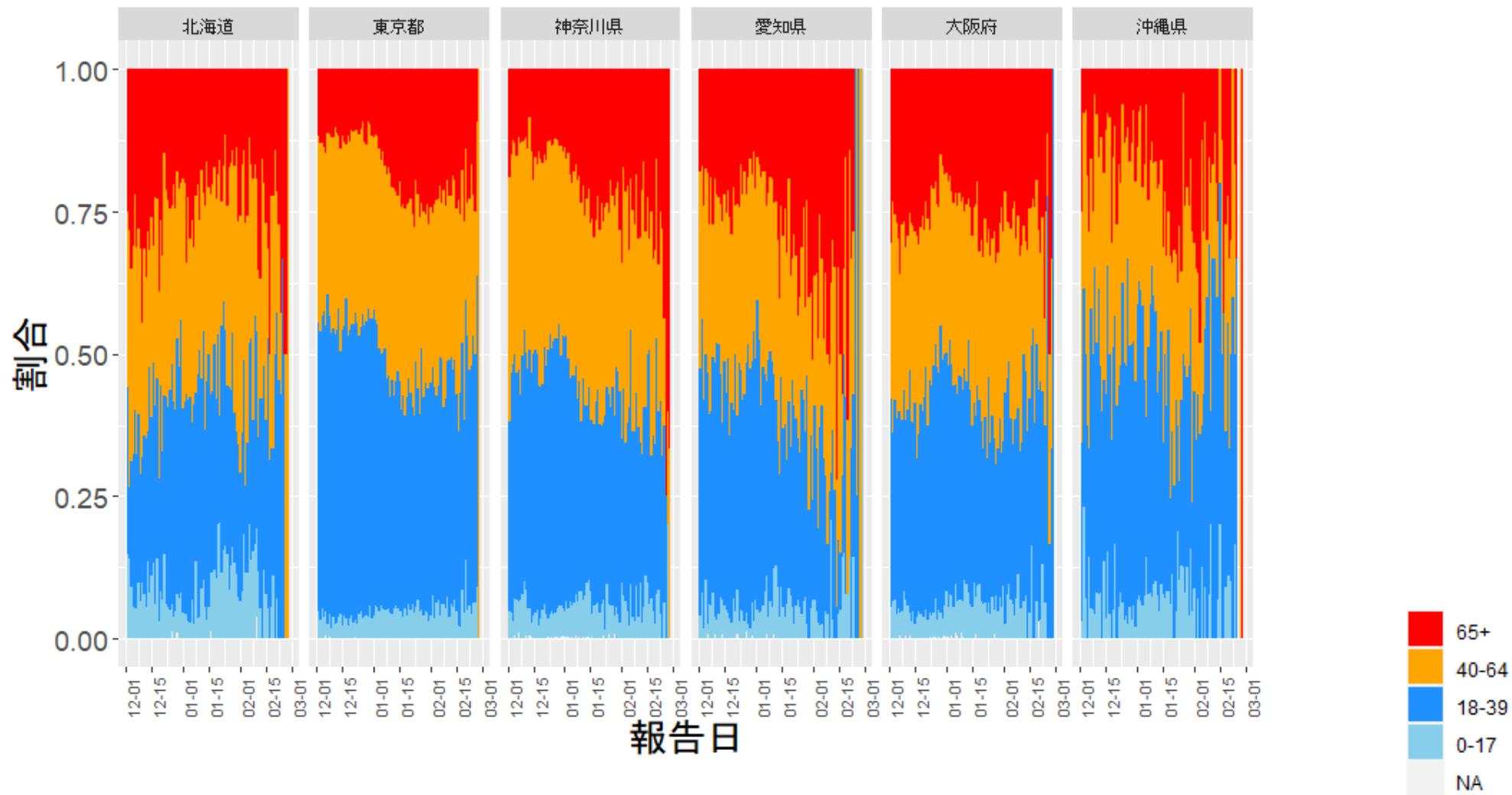
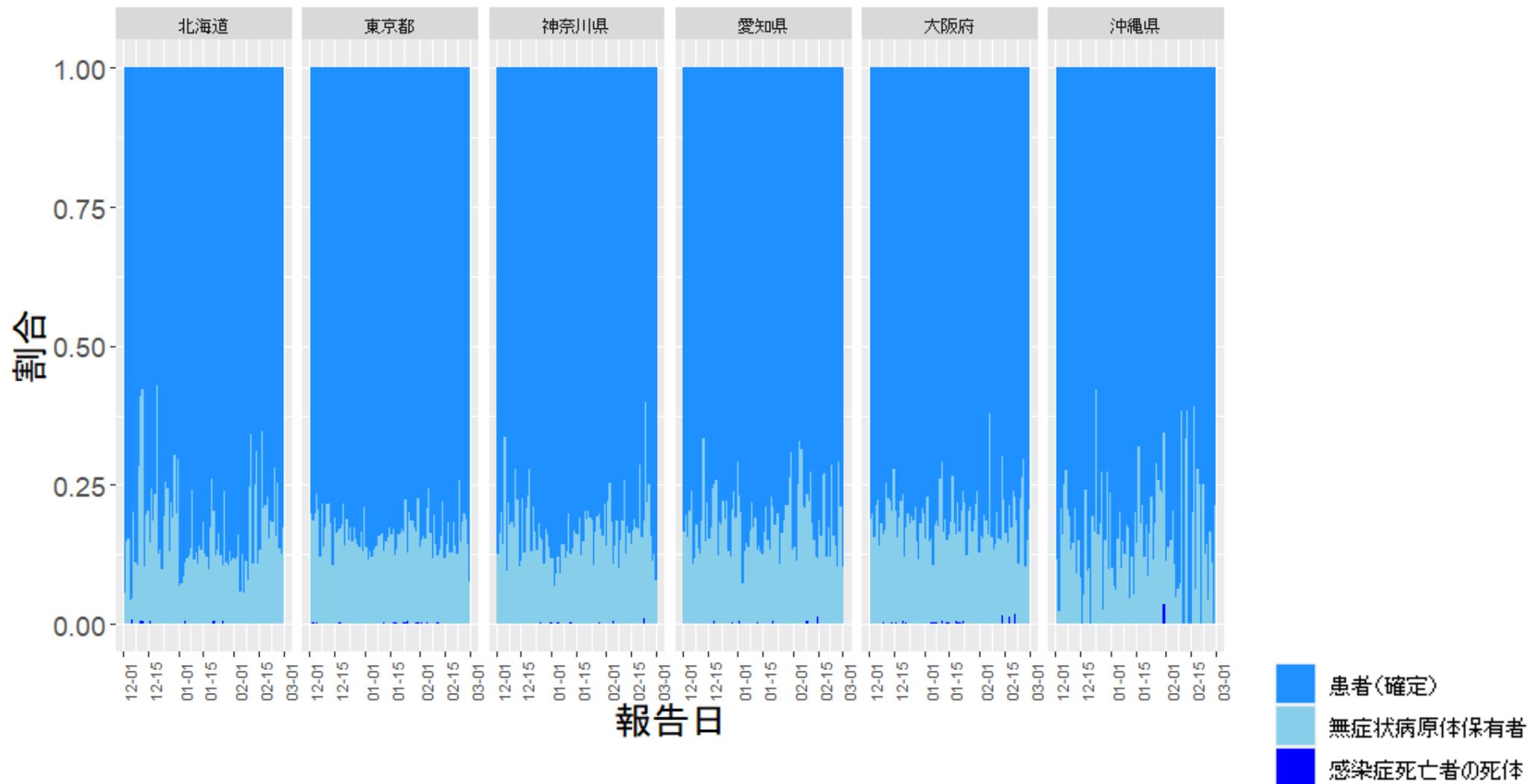


年齢群分布の推移：都道府県、報告日別（3月2日作成）



HER-SYSデータに基づく。

届け出時点の病型分布の推移：都道府県、報告日別（3月2日作成）



HER-SYSデータに基づく。
(注) 感染症死亡者の死体：死後に新型コロナウイルス感染症によるものと判断された者

人口10万人あたりの7日間累積新規症例数の推移：年齢群別

使用データ

HER-SYSと自治体公開情報データ（3月1日時点）

対象地域

- 埼玉、東京、千葉、神奈川、愛知、岐阜、京都、大阪、兵庫、福岡

解釈時の注意点

- HER-SYSに基づく値は、特に直近1週間については報告遅れのために過小評価となっている可能性があり、その程度は自治体によって差がある（図の灰色部分）
- 自治体公開情報データに基づく年代別の値は、年代を非公表としている症例が多い自治体については過小評価となる
- どちらのデータも完全ではないため、両者を用いた評価が必要である

まとめ

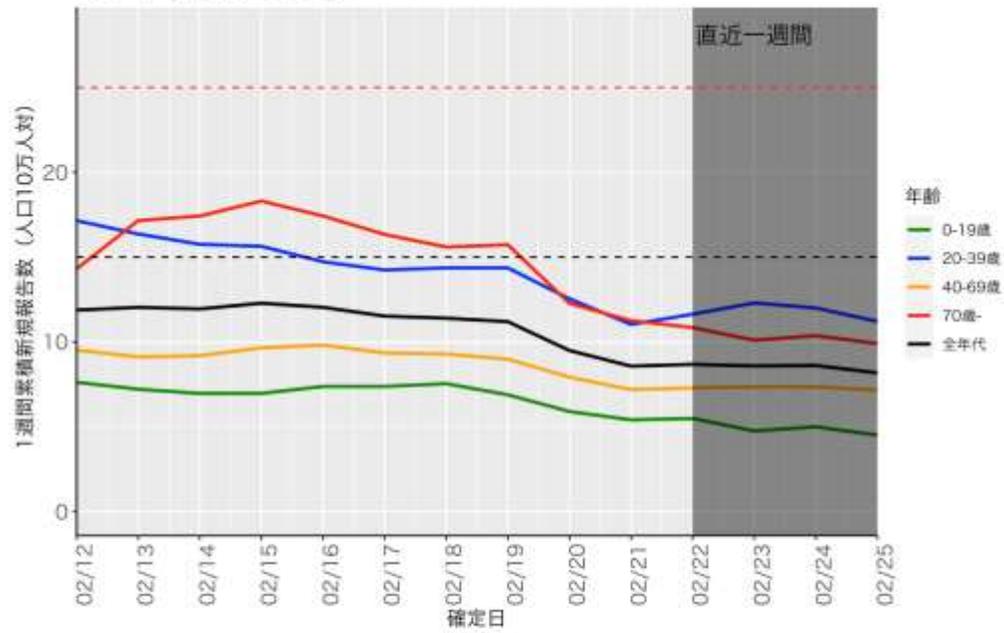
首都圏：他地域と比較して人口当たりの症例数が高いレベルで概ね横ばいである。東京と千葉では20-30代と高齢世代についてはステージ3相当である。

中京圏：愛知では高齢世代の症例数が多いが減少傾向は続いている。

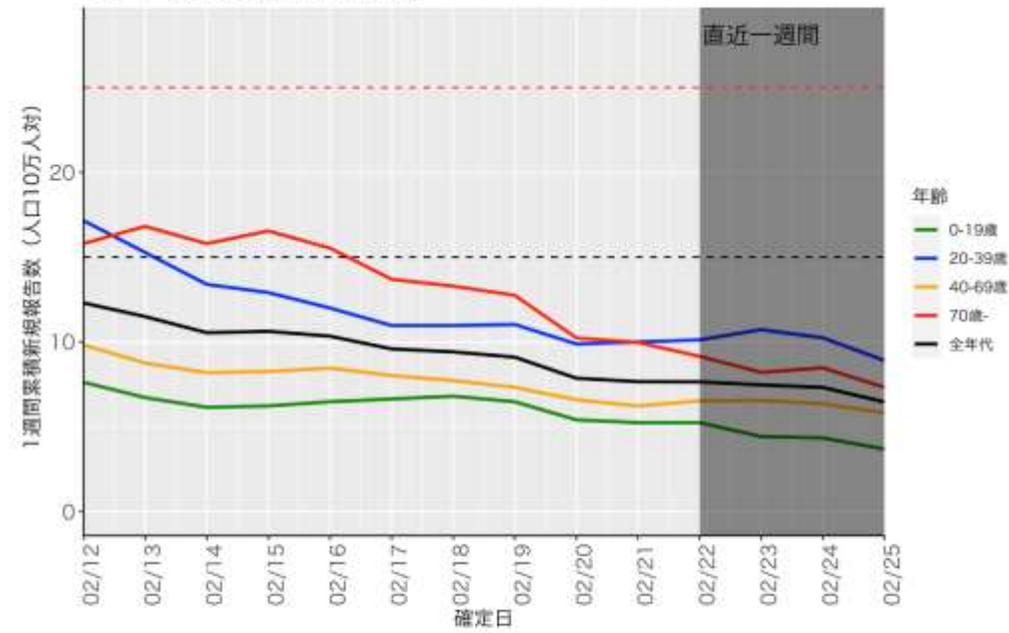
関西圏：京都、兵庫では高齢世代の症例数が減少傾向となったが大阪は横ばいである。

福岡県：直近1週間で高齢世代がステージ3の基準付近から減少傾向となった。

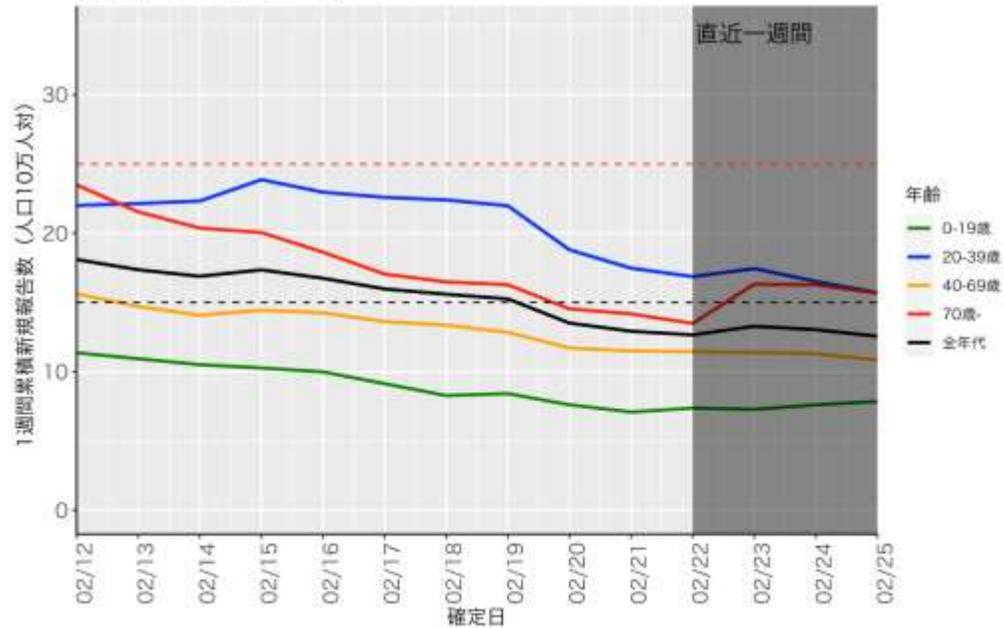
埼玉 (HER-SYS)



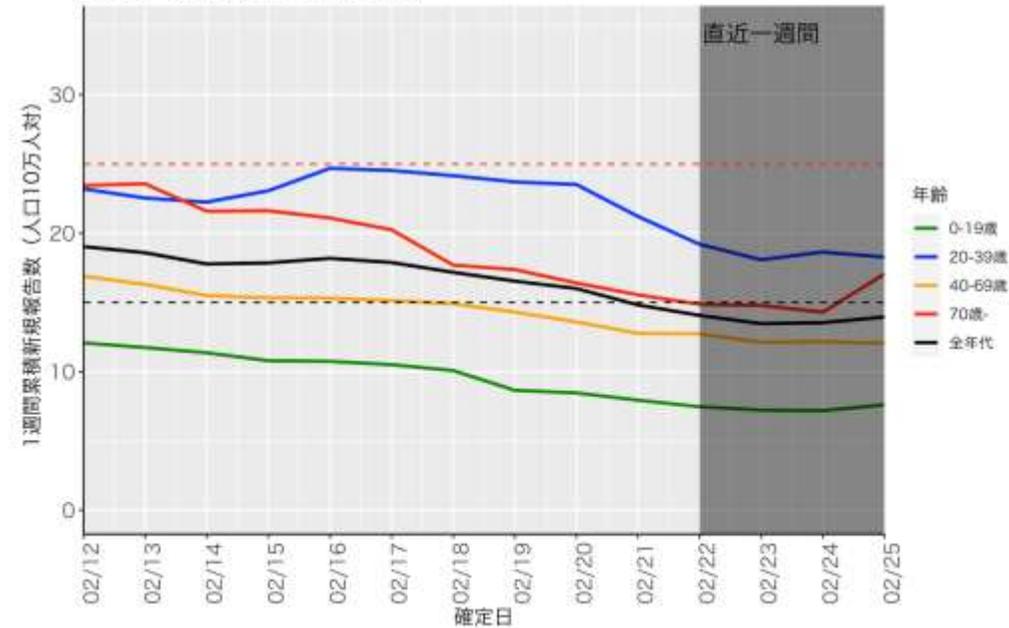
埼玉 (自治体公開情報)



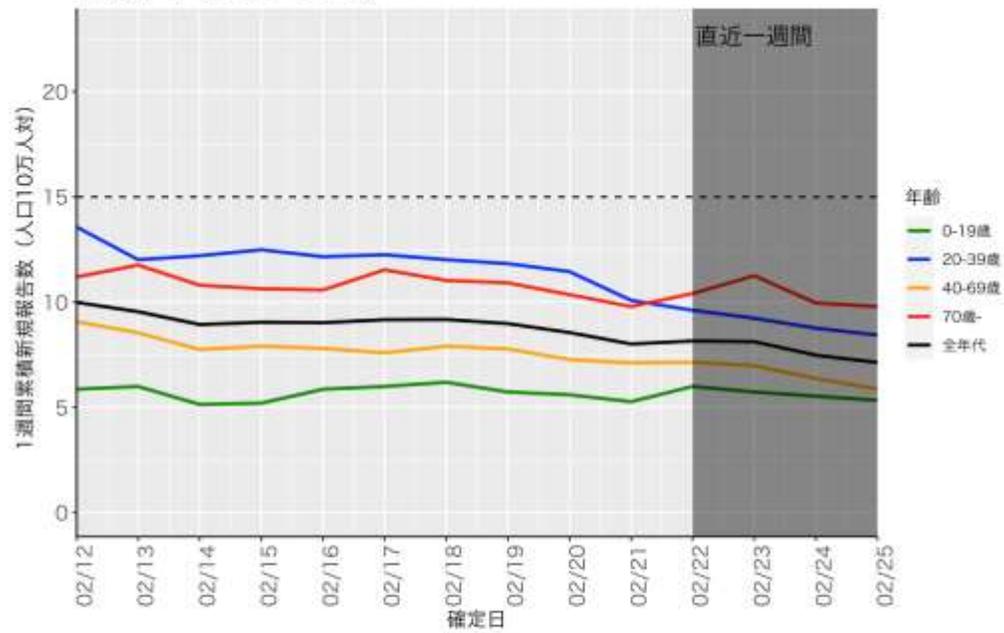
東京 (HER-SYS)



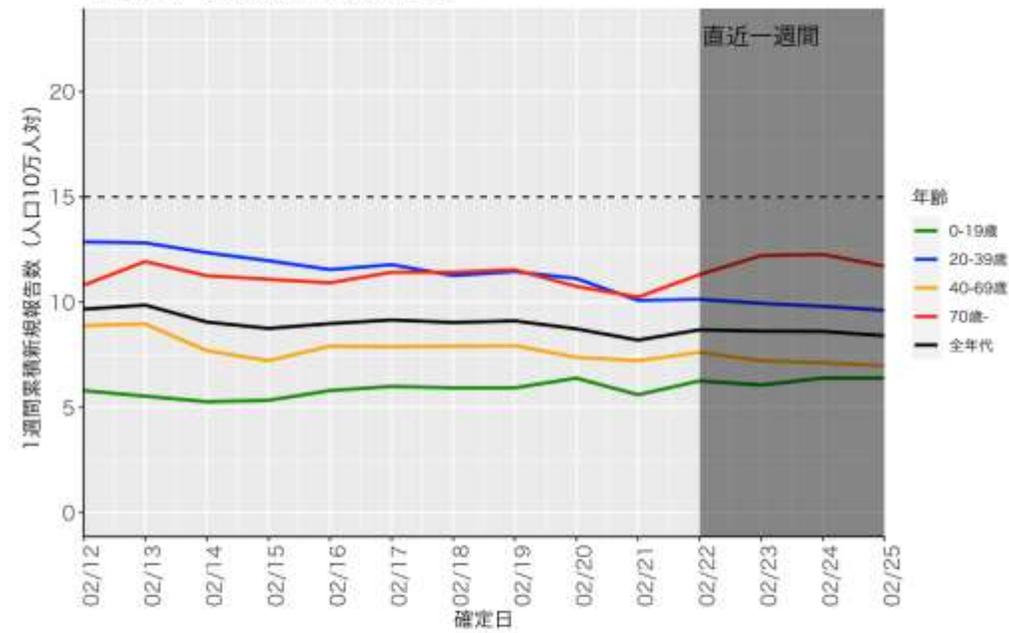
東京 (自治体公開情報)



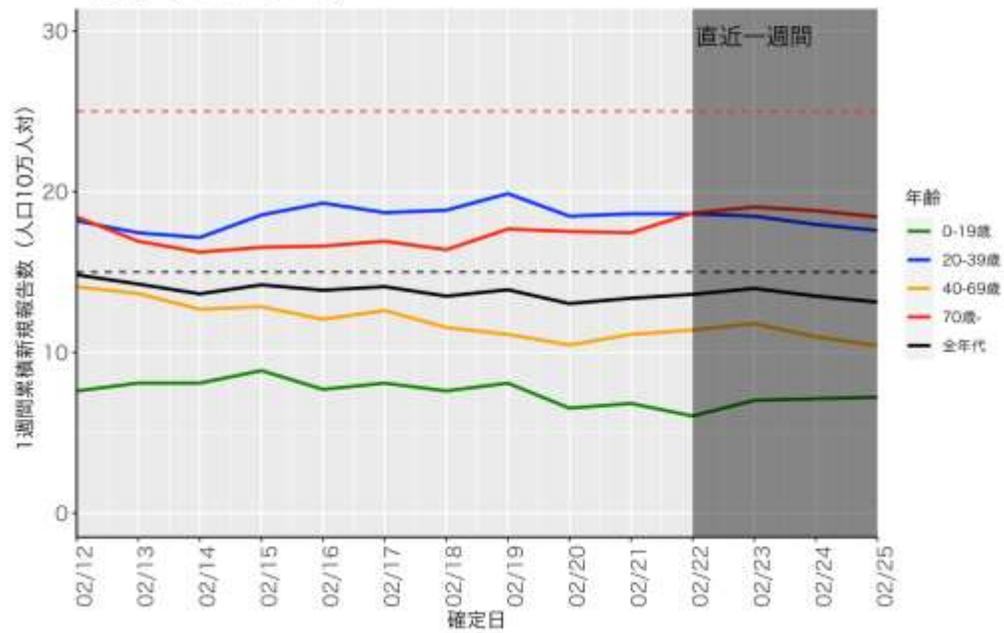
神奈川 (HER-SYS)



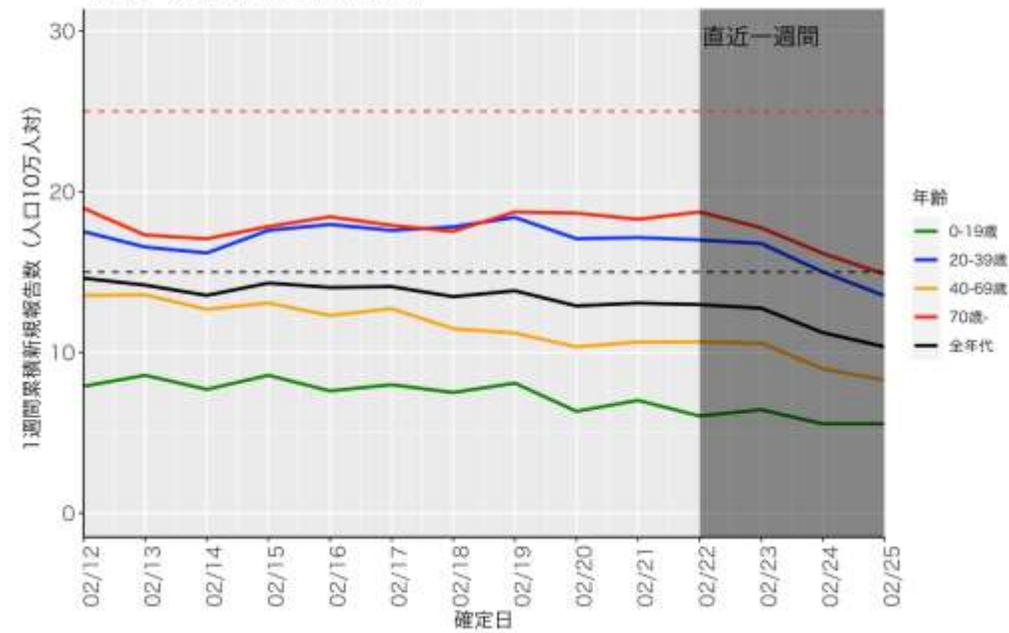
神奈川 (自治体公開情報)



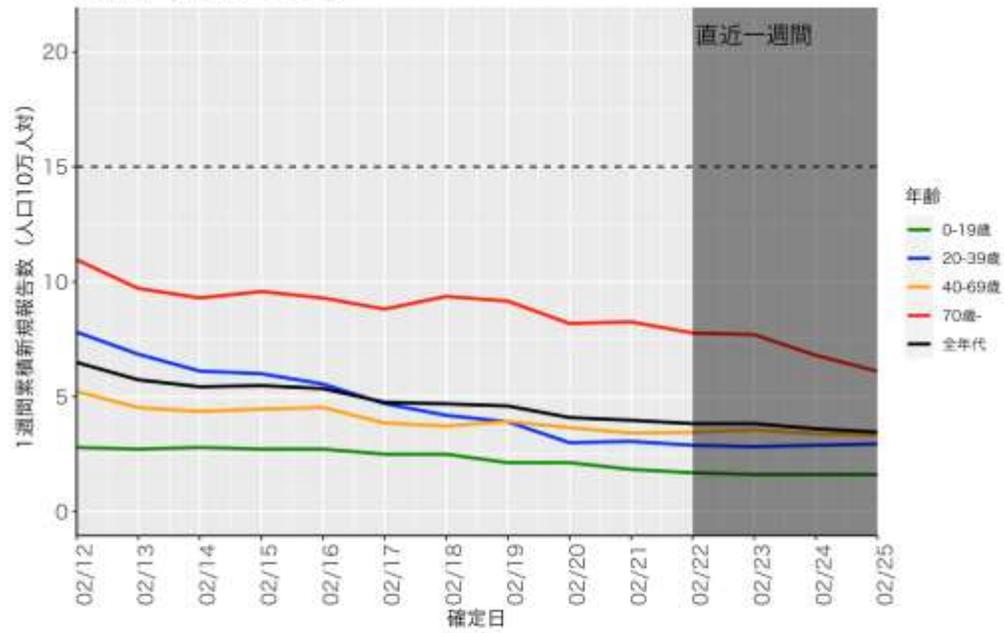
千葉 (HER-SYS)



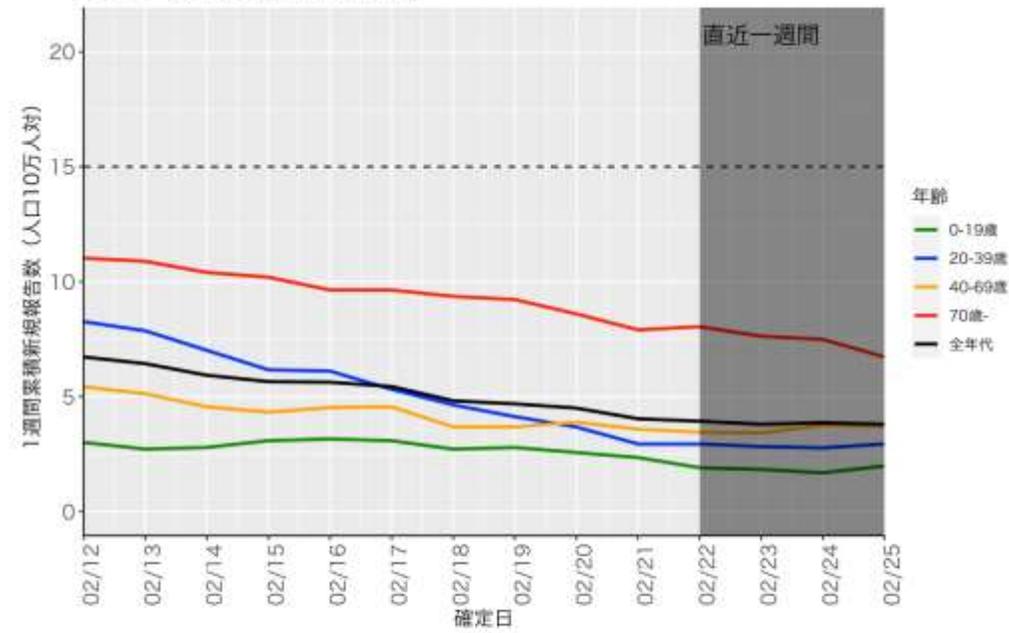
千葉 (自治体公開情報)



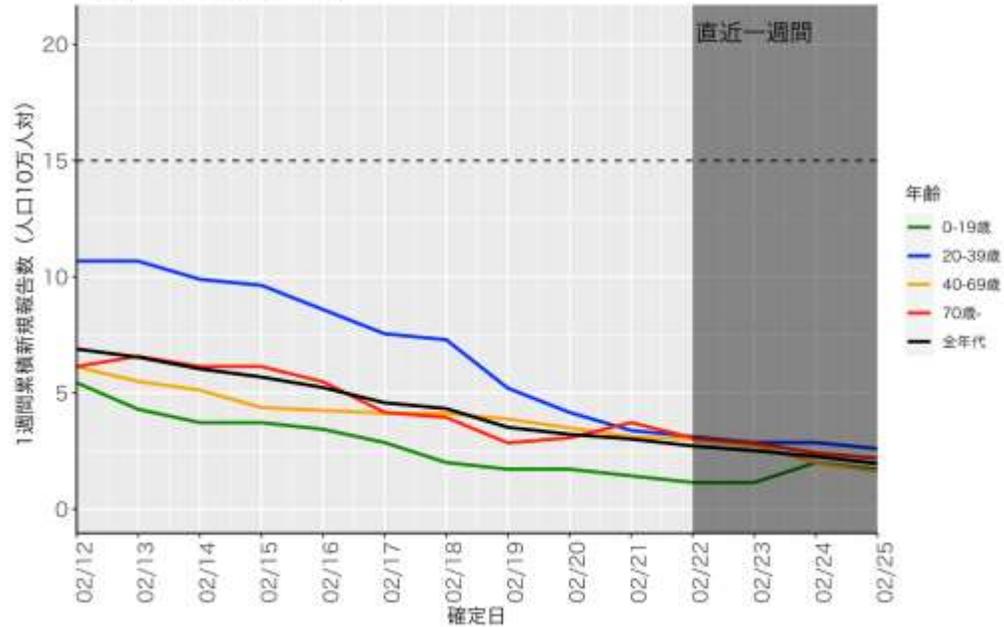
愛知 (HER-SYS)



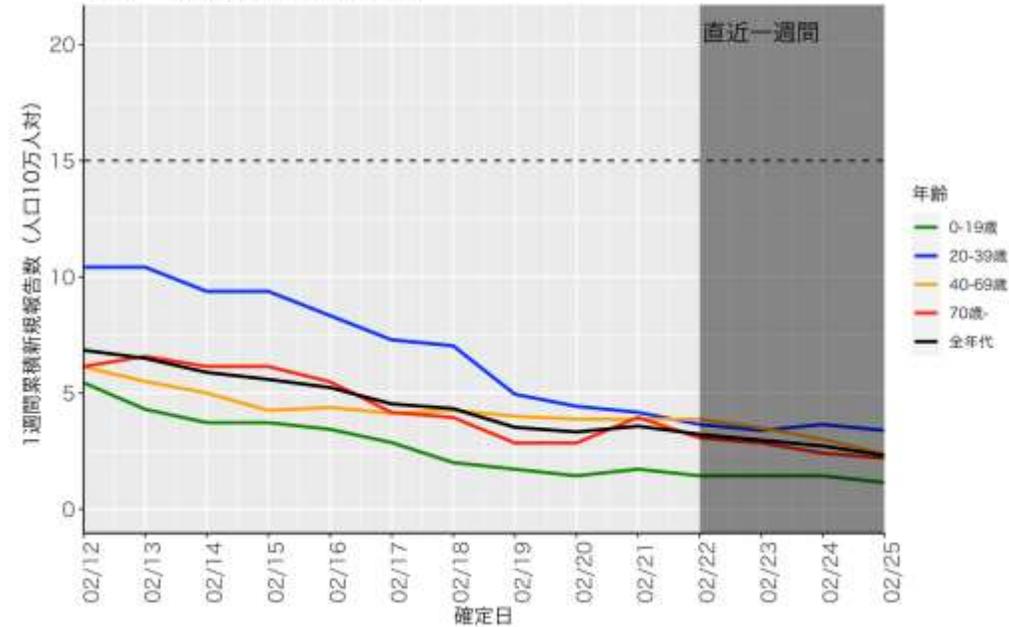
愛知 (自治体公開情報)



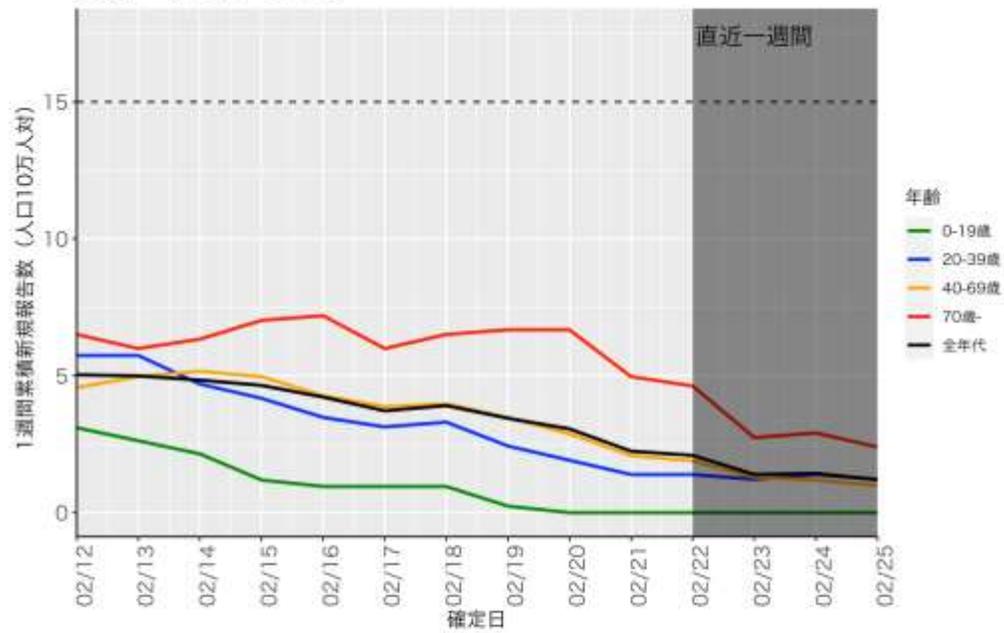
岐阜 (HER-SYS)



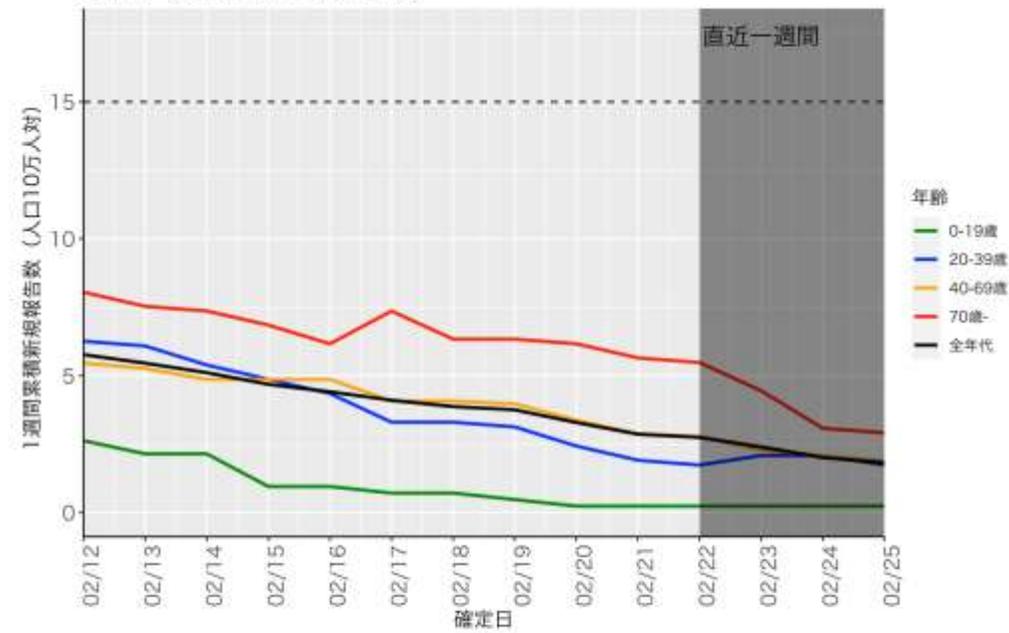
岐阜 (自治体公開情報)



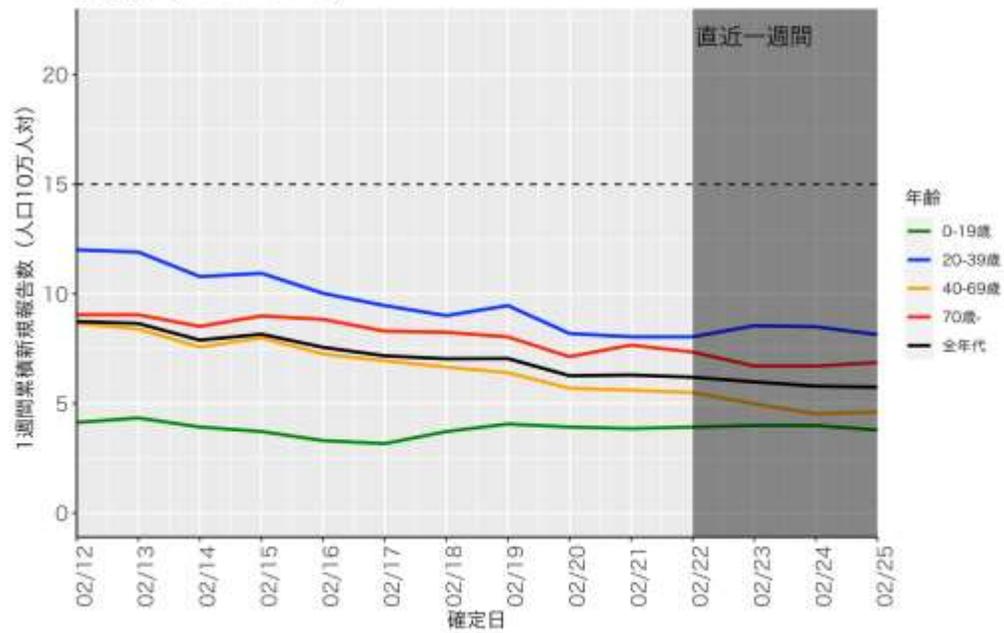
京都 (HER-SYS)



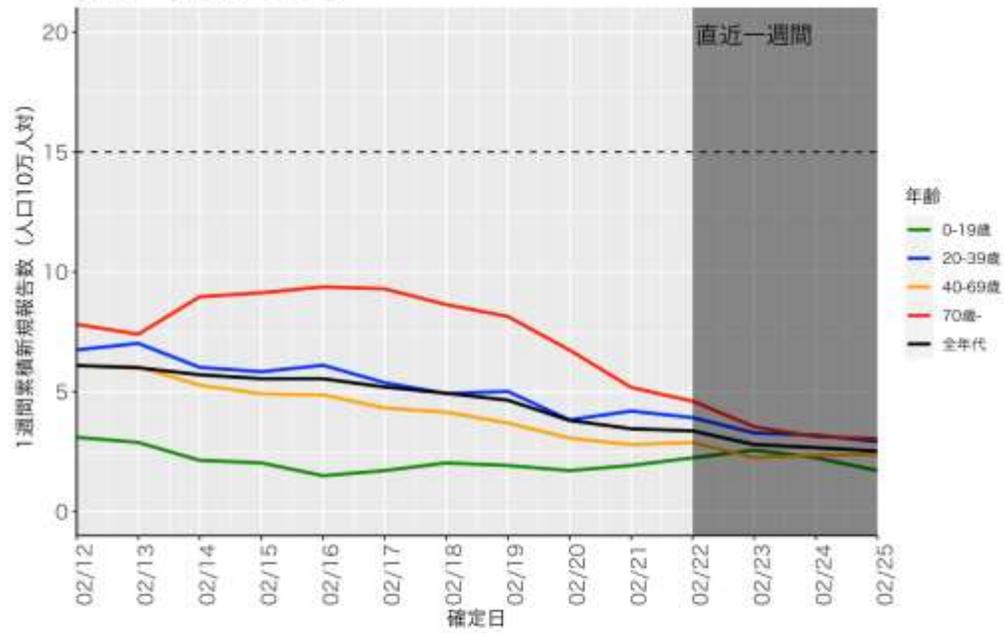
京都 (自治体公開情報)



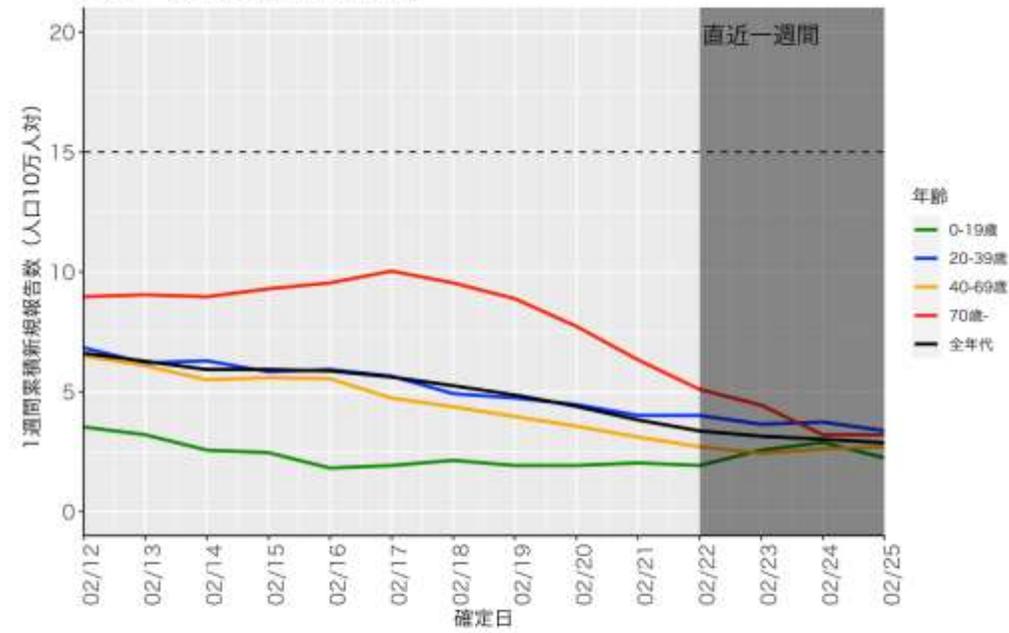
大阪 (HER-SYS)



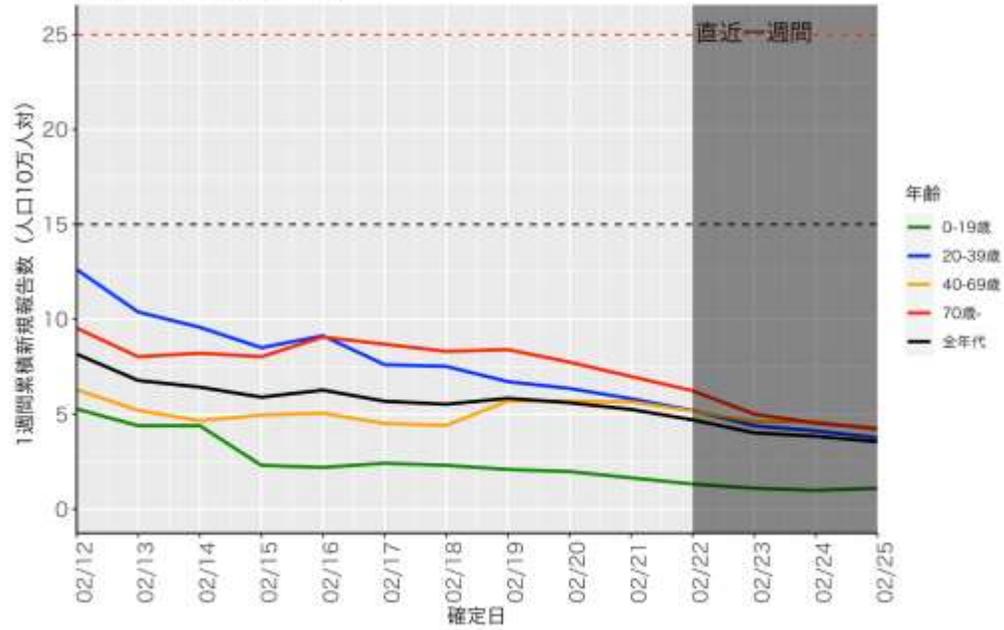
兵庫 (HER-SYS)



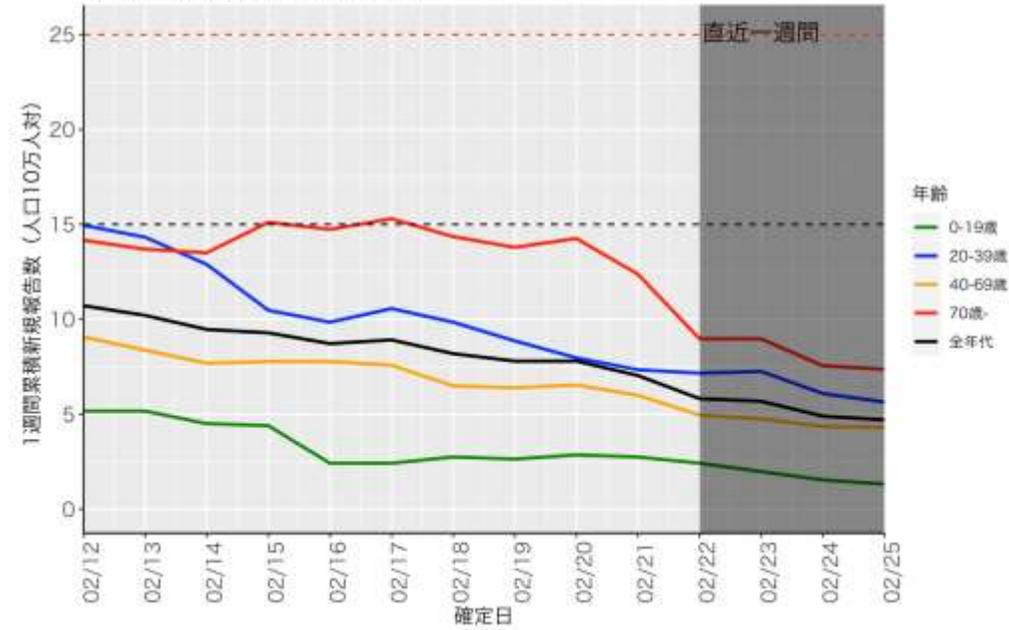
兵庫 (自治体公開情報)



福岡 (HER-SYS)



福岡 (自治体公開情報)



人口10万人あたりの7日間新規感染者数マップ

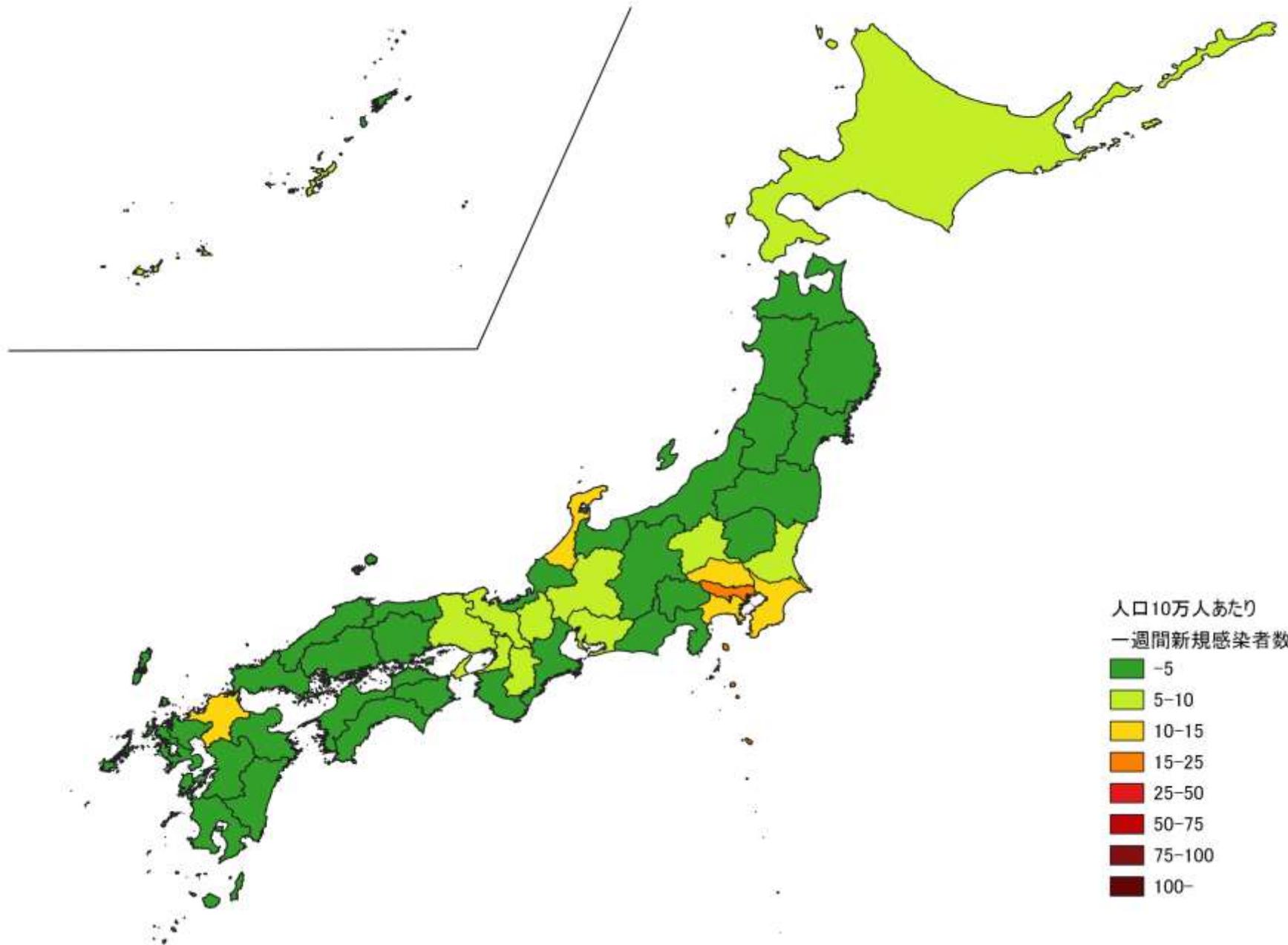
使用データ

- 2021年3月1日時点（2月28日公表分まで）の自治体公開情報を用いて、直近1週間（2/22~2/28）、1週間前（2/15~2/21）、2週間前（2/8~2/14）の人口10万人あたり7日間累積新規感染者数を都道府県別に図示した。
- 同様にHER-SYSデータを用いて保健所管区別の分析を行った（図示せず）。

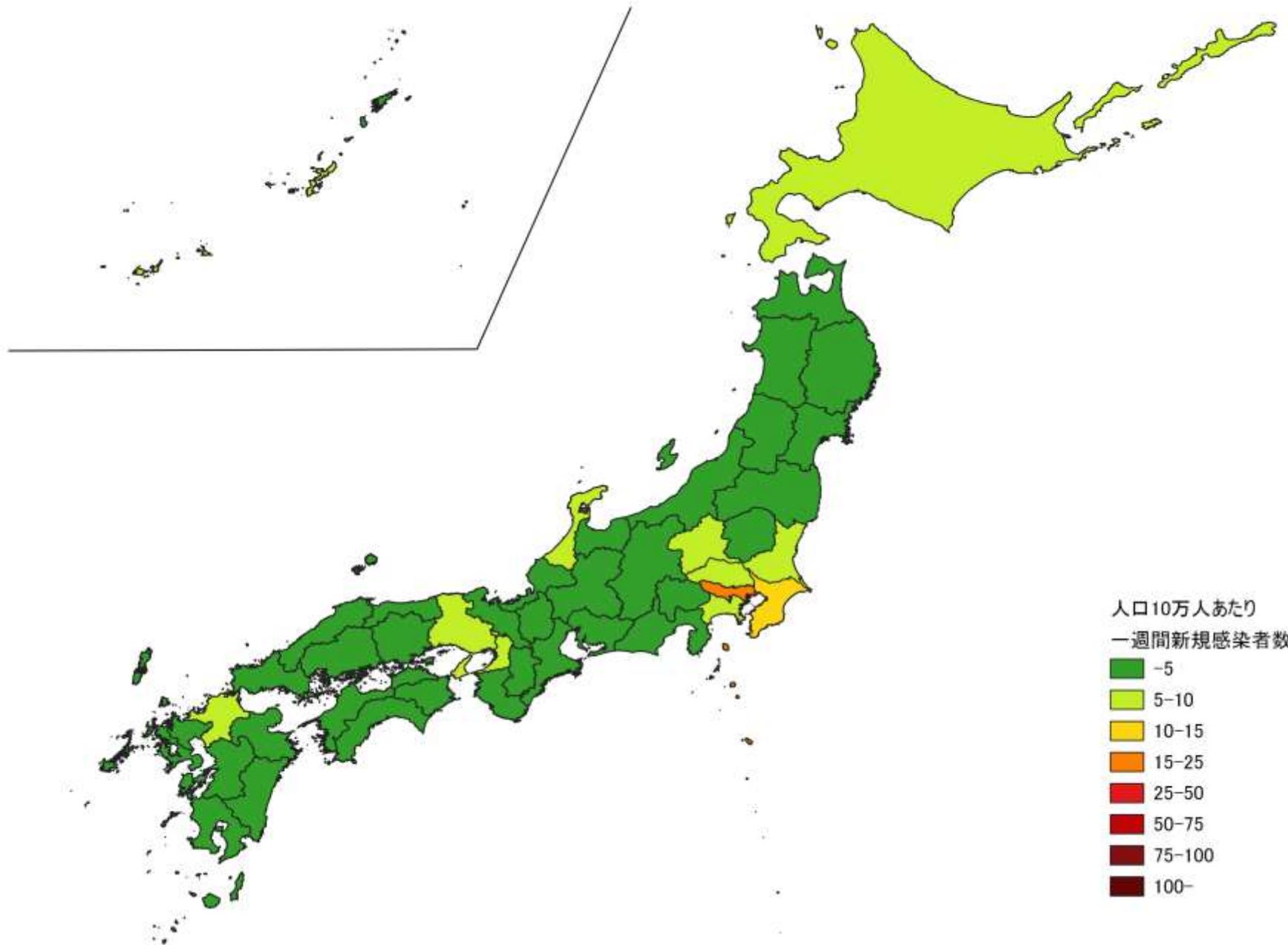
まとめ

- 直近では、都道府県レベルではステージ4、3相当の地域は認めず、東京都と千葉県が人口10万対10以上である。
- 保健所管区レベルでは、クラスターが発生している地域（東北地方、関東地方、九州地方）でステージ4相当がみられる。また、北海道、東北地方、関西地方、中部地方、北陸地方にステージ3相当の地域が散見される。

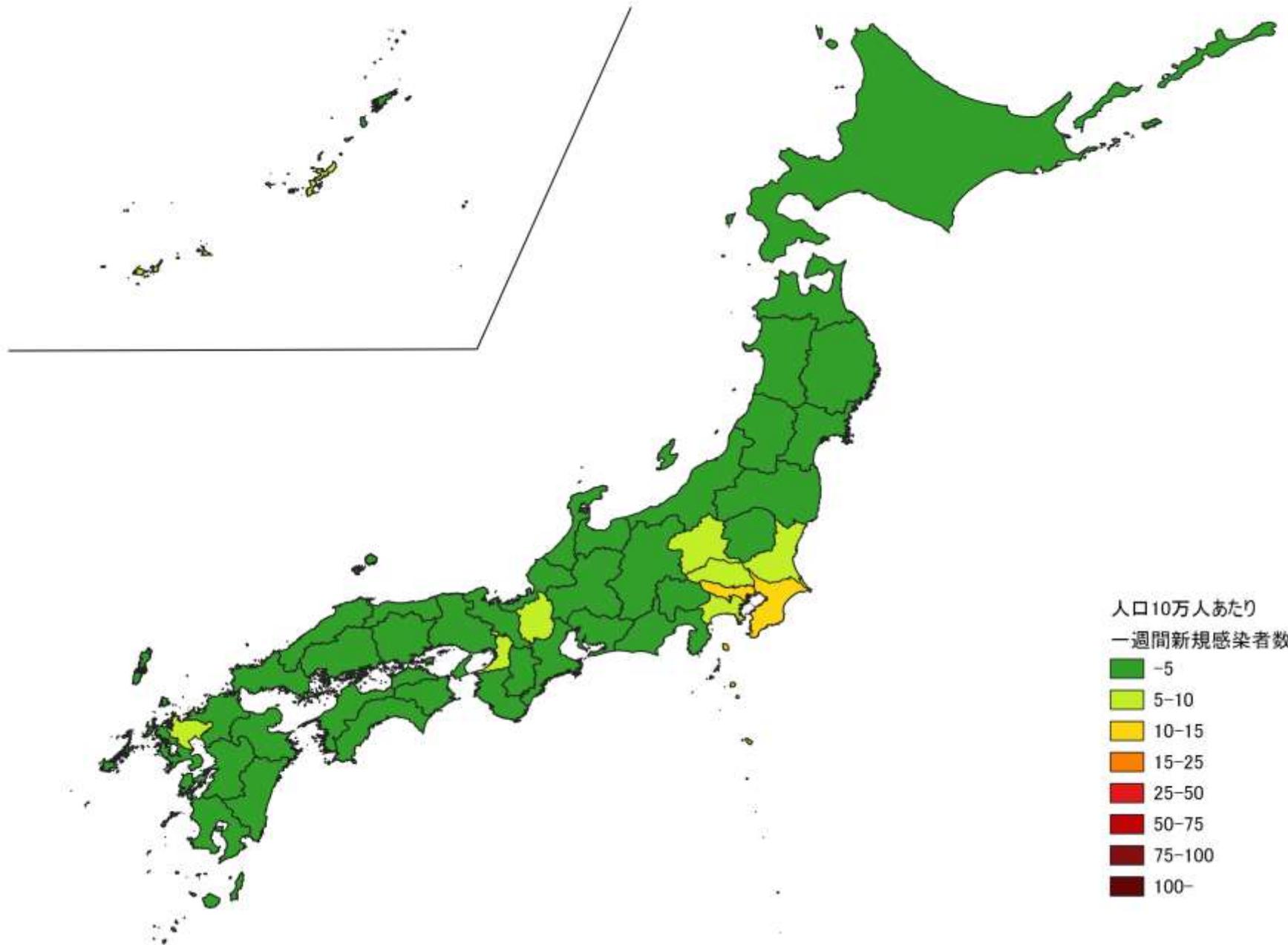
都道府県単位 2/8~2/14 (自治体公開情報)



都道府県単位 2/15~2/21
(自治体公開情報)

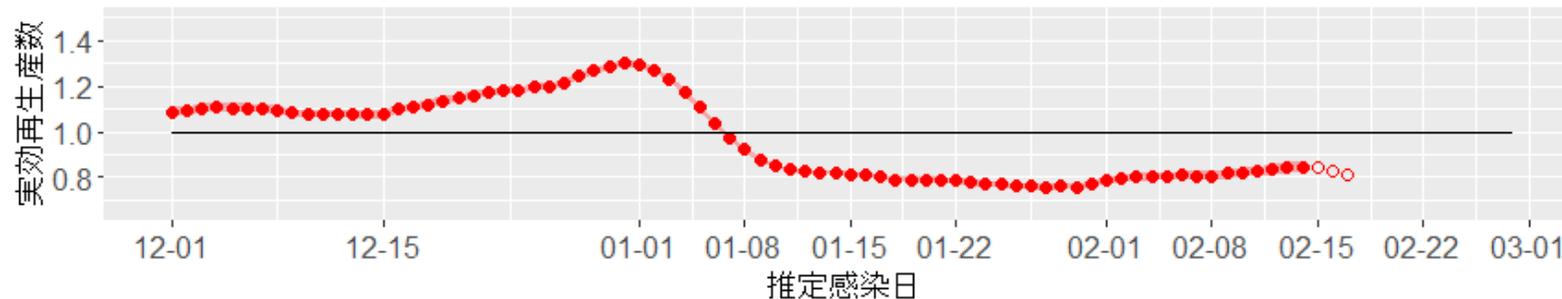


都道府県単位 2/22~2/28
(自治体公開情報)

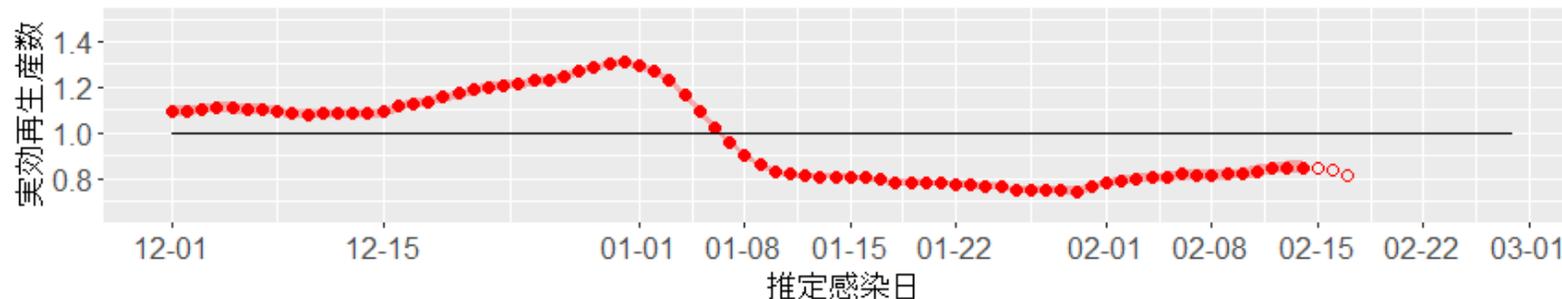


全国の実効再生産数（推定感染日毎）：3月2日作成

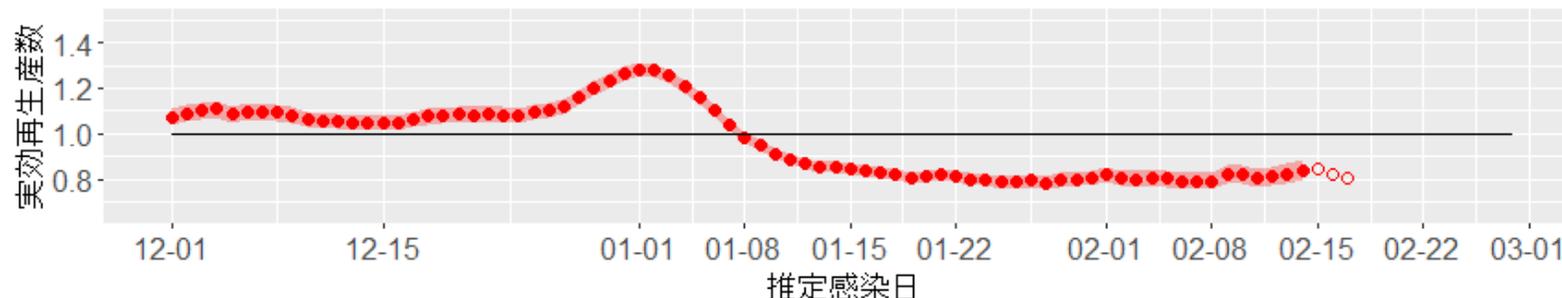
全国
2月14日時点Rt=0.84 (0.82-0.87)



緊急事態宣言対象地域*：10都府県
2月14日時点Rt=0.85 (0.82-0.87)



緊急事態宣言非対象地域*：37道県
2月14日時点Rt=0.84 (0.79-0.88)



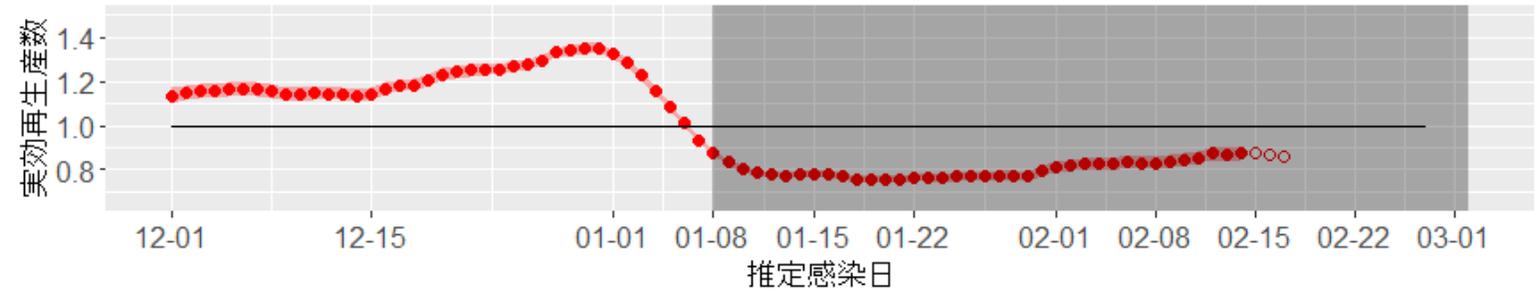
*2月14日時点の対象地域

実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。括弧内の値と図中の赤帯は95%信頼区間を表す。
なお、発症日の入力率、公表率は自治体によりばらつきが大きく、また事後的に修正される可能性があるため、値は暫定値である。

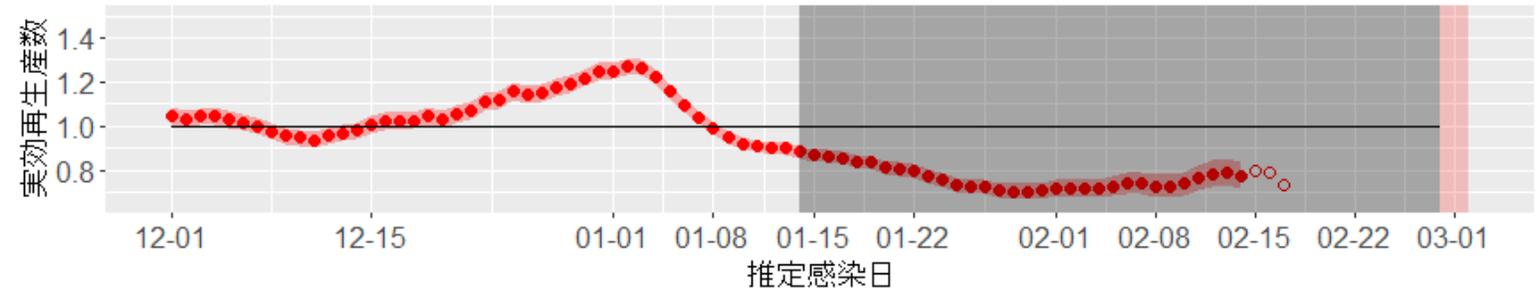
大都市圏の実効再生産数（推定感染日毎）：3月2日作成

緊急事態宣言

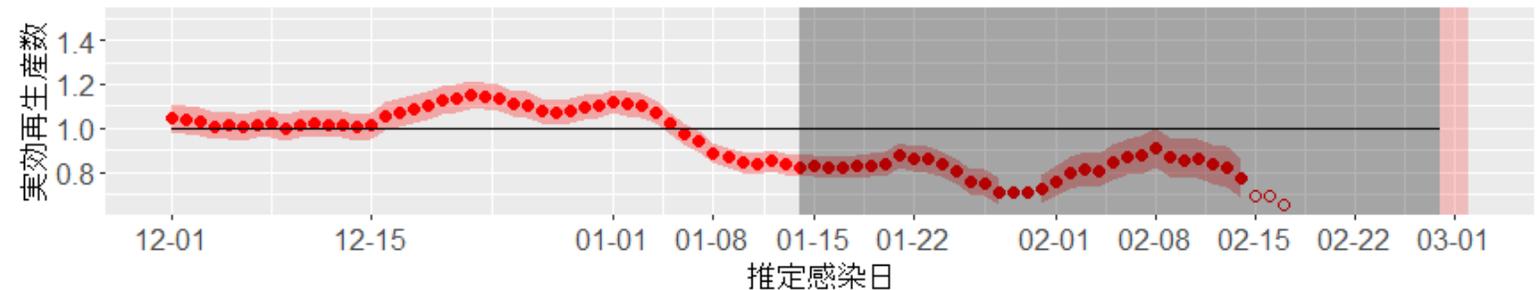
首都圏：東京、神奈川、千葉、埼玉
2月14日時点Rt=0.88 (0.84-0.91)



関西圏：大阪、京都、兵庫
2月14日時点Rt=0.77 (0.72-0.84)

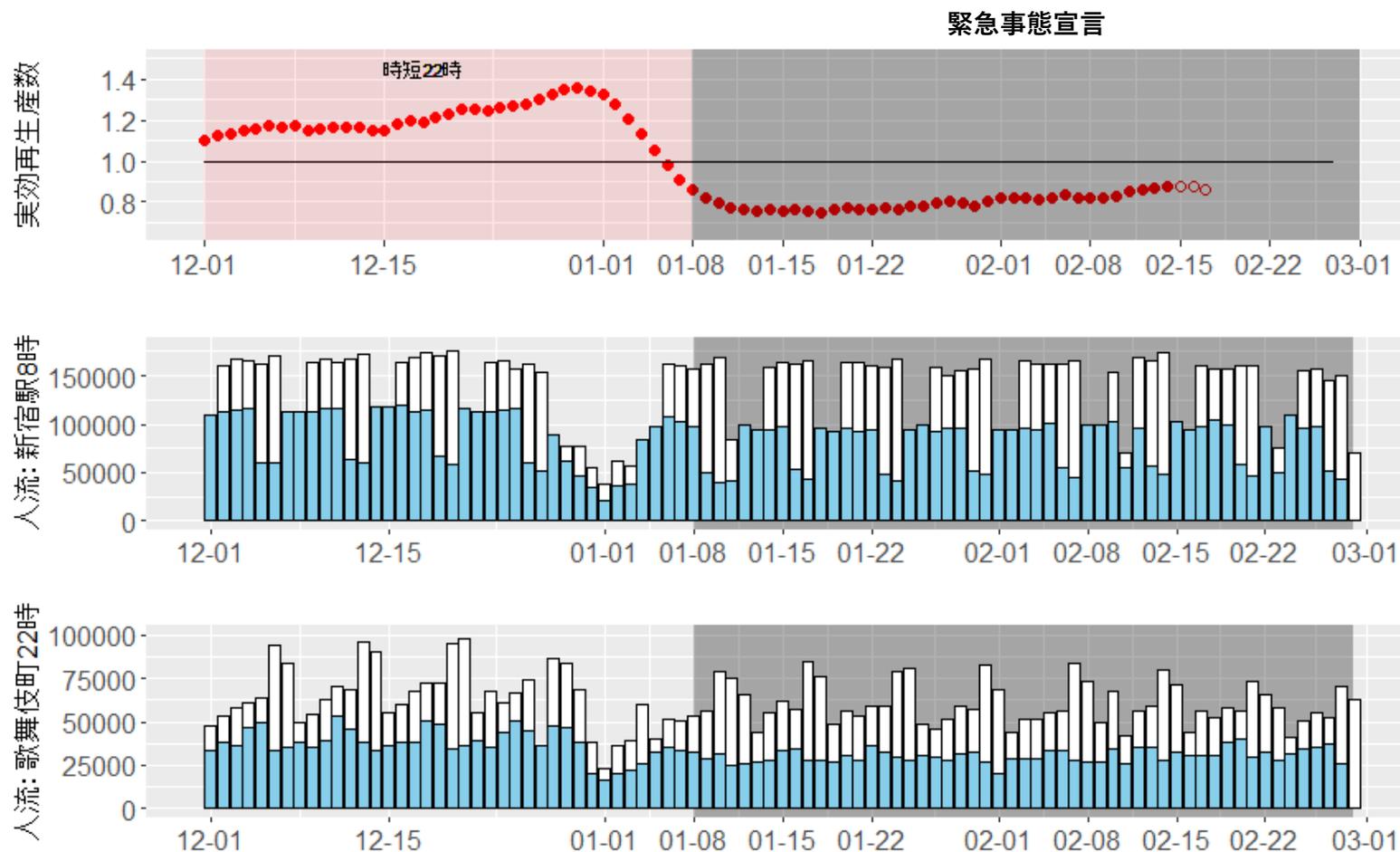


中京圏：愛知、岐阜
2月14日時点Rt=0.77 (0.69-0.86)



実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。括弧内の値と図中の赤帯は95%信頼区間を表す。
なお、発症日の入力率、公表率は自治体によりばらつきが大きく、また事後的に修正される可能性があるため、値は暫定値である。

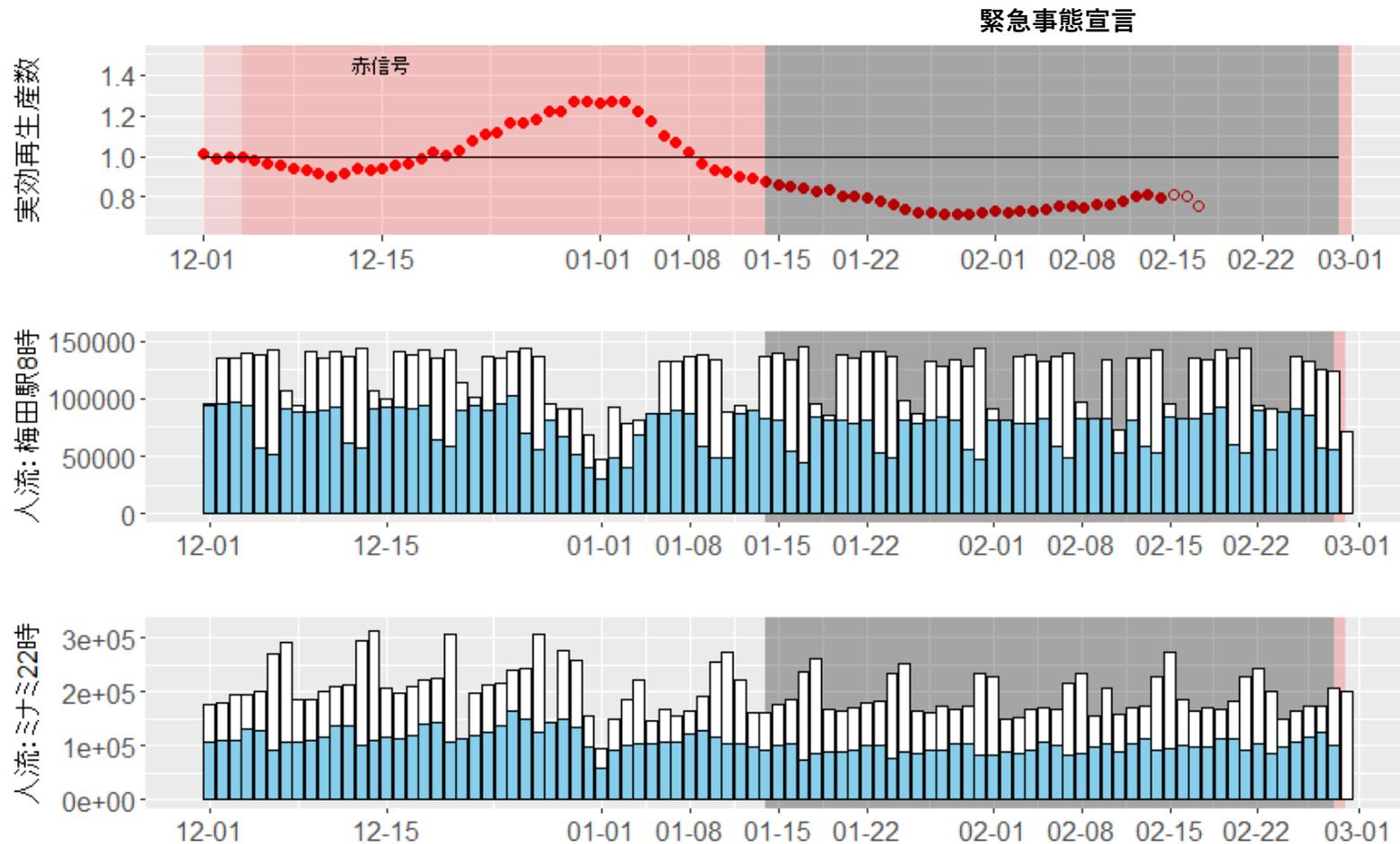
東京都の実効再生産数（推定感染日毎）と人流：3月2日作成



白 = 2019-20年
赤 = 2020-21年

実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。人流データは株式会社Agoopのものを用了。

大阪府の実効再生産数（推定感染日毎）と人流：3月2日作成



白 = 2019-20年
赤 = 2020-21年

実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。人流データは株式会社Agoopのものを用いた。

流動人口の推移

データ

- 3月1日時点のAgoop流動人口データ（2021/1/7~2021/3/1）

対象地域

- 緊急事態宣言が発令された東京、千葉、神奈川、埼玉、名古屋、岐阜、大阪、兵庫、京都、福岡（2/28に名古屋、岐阜、大阪、兵庫、京都、福岡は解除）

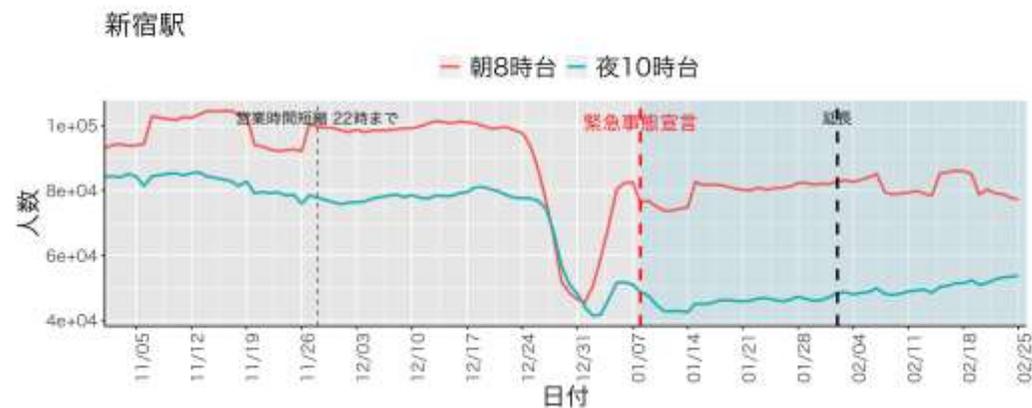
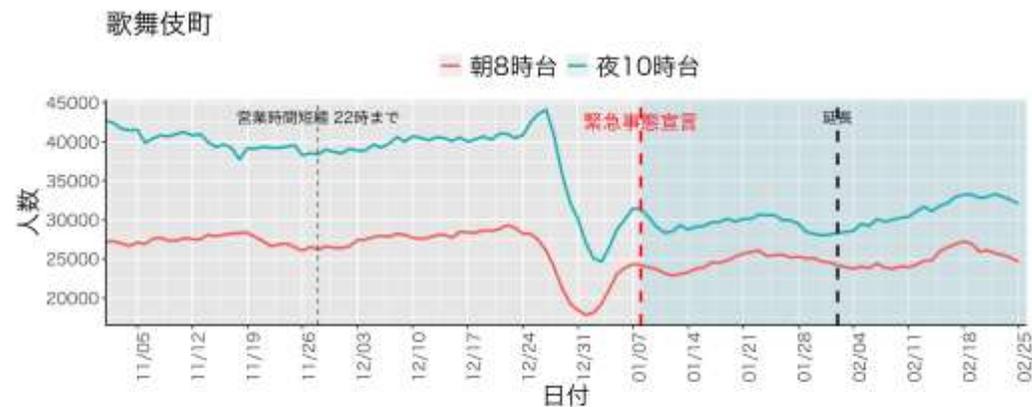
データ表示方法

- 駅または繁華街における朝8時と夜10時の時間別流動人口の移動平均（±3日）
- 1月7日（関東地方で緊急事態宣言が発令された前日）を基準日として、2月25日時点の増減率と、緊急事態宣言以降の最大減少率を算出

まとめ

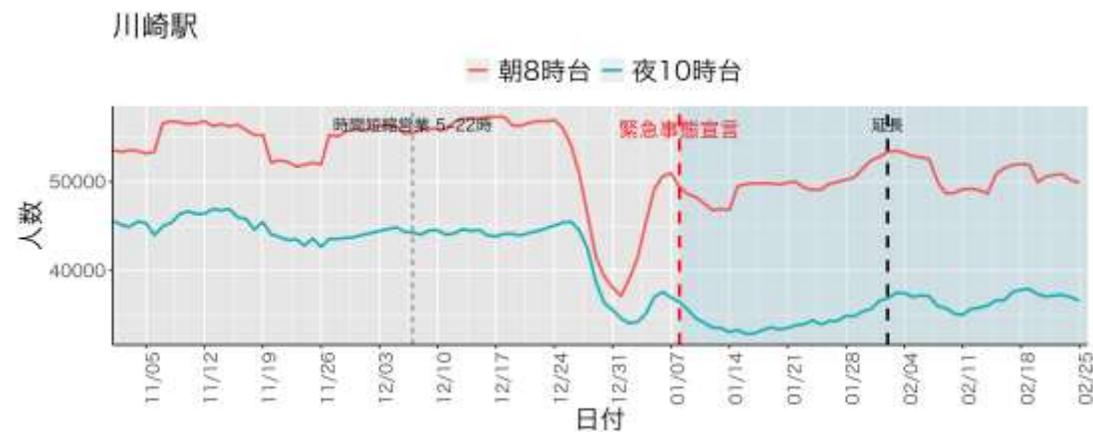
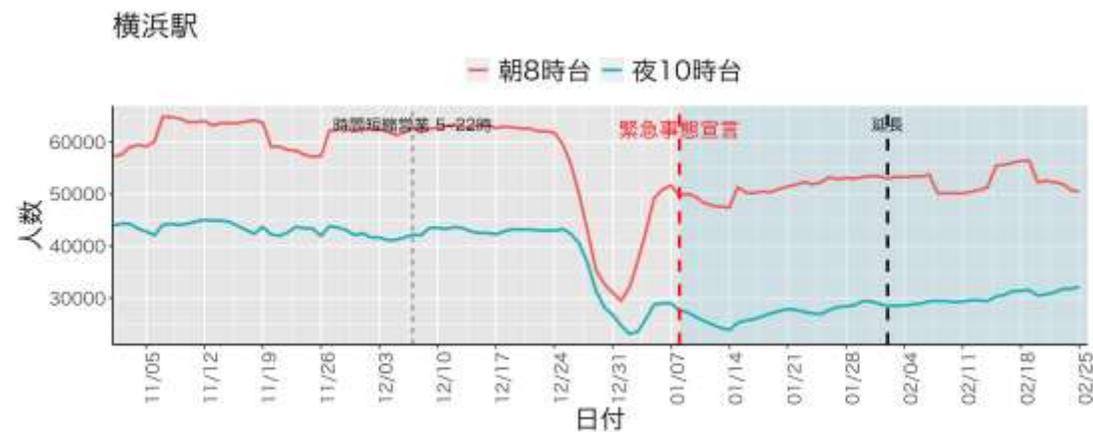
- 全国的に朝8時、夜10時ともに緊急事態宣言発出前のレベルで横ばいから微増傾向。

東京



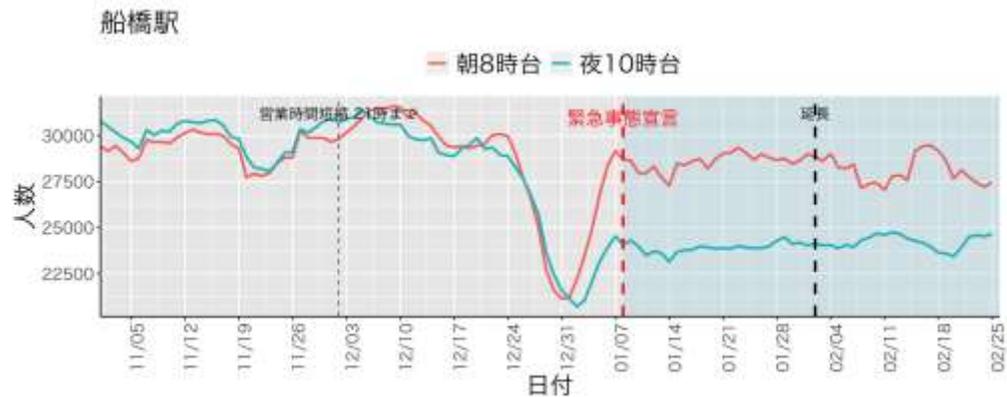
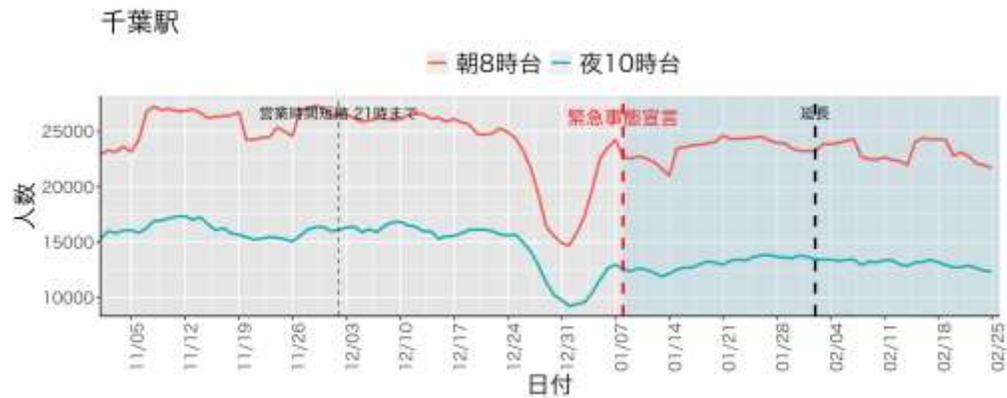
場所	時間帯	2月25日時点	最大減少幅
歌舞伎町	朝8時台	1.32%	-6.1%
	夜10時台	1.93%	-11%
新宿駅	朝8時台	-6.5%	-10.6%
	夜10時台	5.1%	-16.7%

神奈川



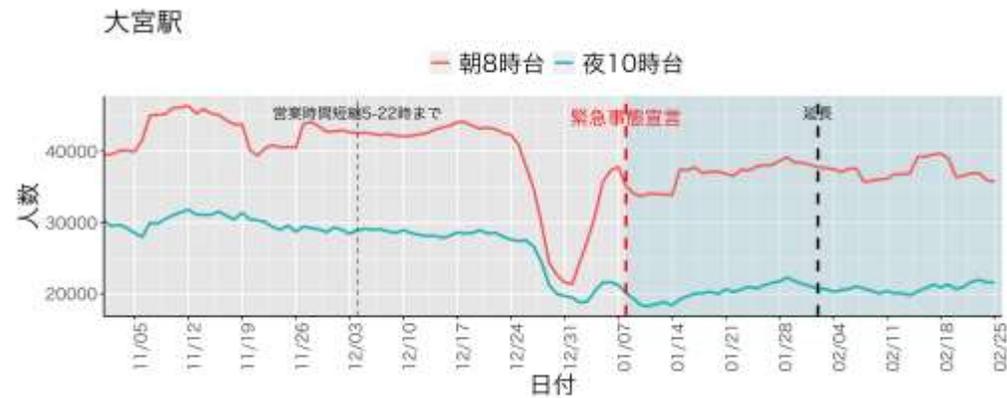
場所	時間帯	2月25日時点	最大減少幅
横浜駅	朝8時台	-2.39%	-8.3%
	夜10時台	10.9%	-17.7%
川崎駅	朝8時台	-2.0%	-8.2%
	夜10時台	-0.9%	-11%

千葉



場所	時間帯	2月25日時点	最大減少幅
千葉駅	朝8時台	-10.5%	-13.3%
	夜10時台	-4.6%	-8.2%
船橋駅	朝8時台	-5.8%	-8.8%
	夜10時台	-0.5%	-5.6%

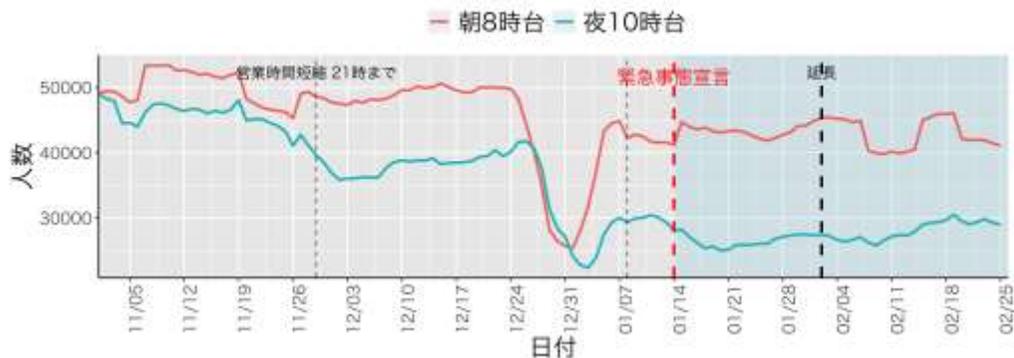
埼玉



場所	時間帯	2月25日時点	最大減少幅
大宮駅	朝8時台	-5.5%	-11%
	夜10時台	4.8%	-13.9%

愛知

栄駅



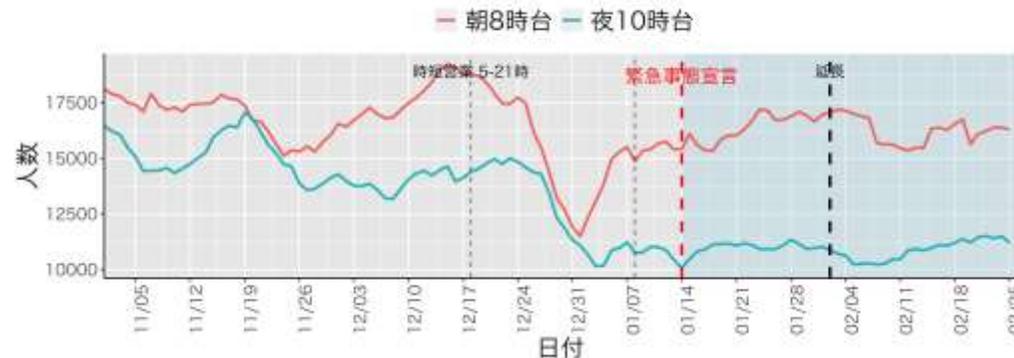
名古屋駅



場所	時間帯	2月25日時点	最大減少幅
栄駅	朝8時台	-8.36%	-13.1%
	夜10時台	-3.42%	-16.5%
名古屋駅	朝8時台	-2.0%	-9.4%
	夜10時台	-3.6%	-25.3%

岐阜

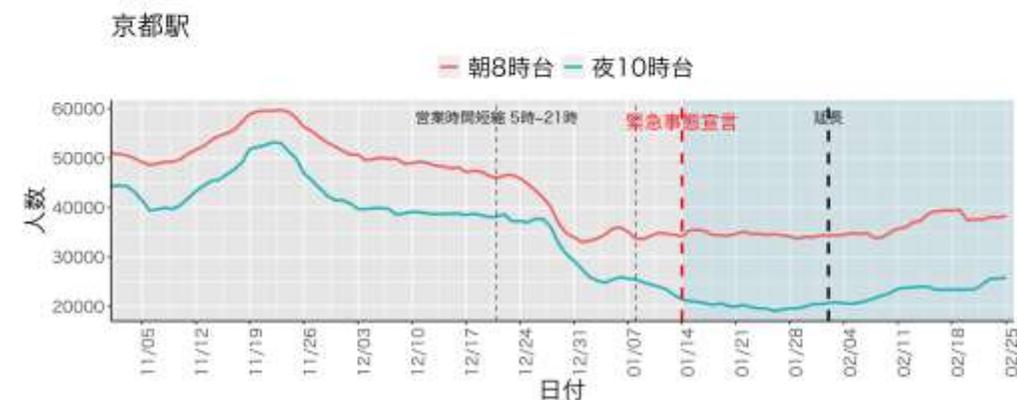
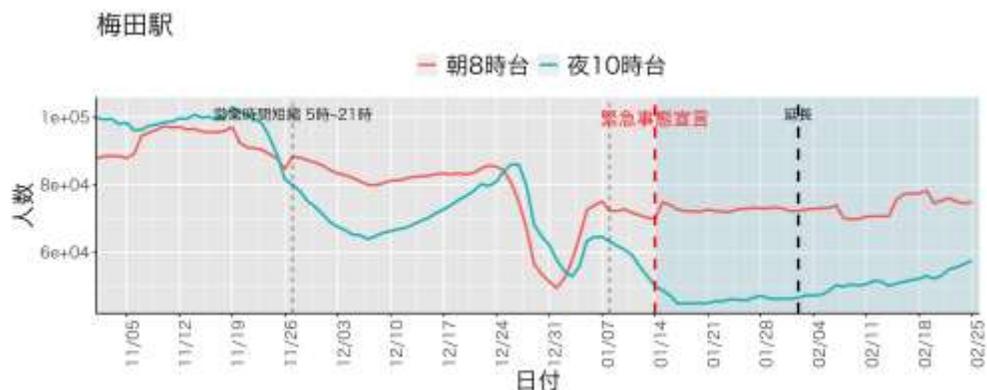
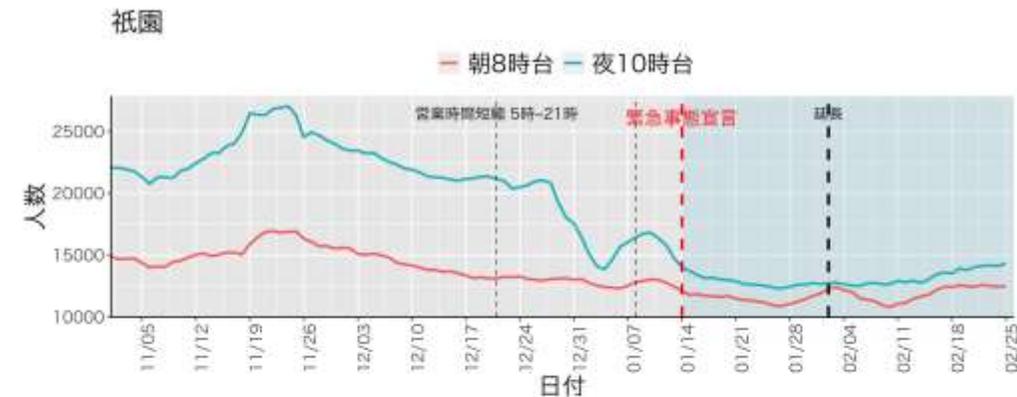
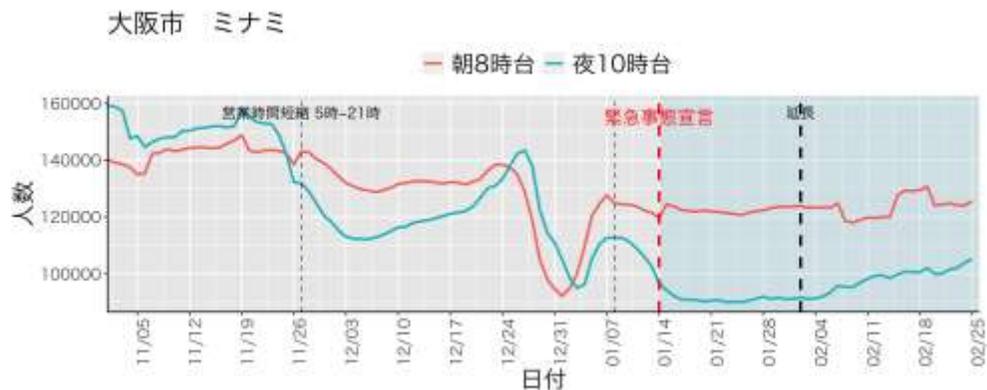
岐阜駅



場所	時間帯	2月25日時点	最大減少幅
岐阜駅	朝8時台	5.1%	-4.1%
	夜10時台	-0.15%	-10.3%

大阪

京都

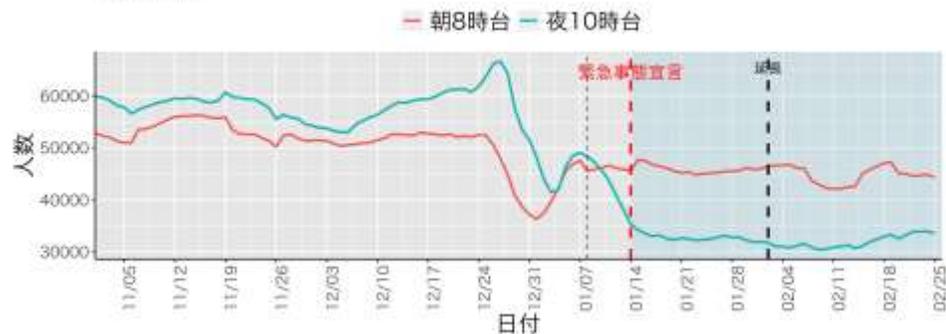


場所	時間帯	2月25日時点	最大減少幅
大阪市ミナミ	朝8時台	-1.6%	-7.6%
	夜10時台	-6.6%	-20.1%
梅田駅	朝8時台	-0.2%	-8.8%
	夜10時台	-10.8%	-30.6%

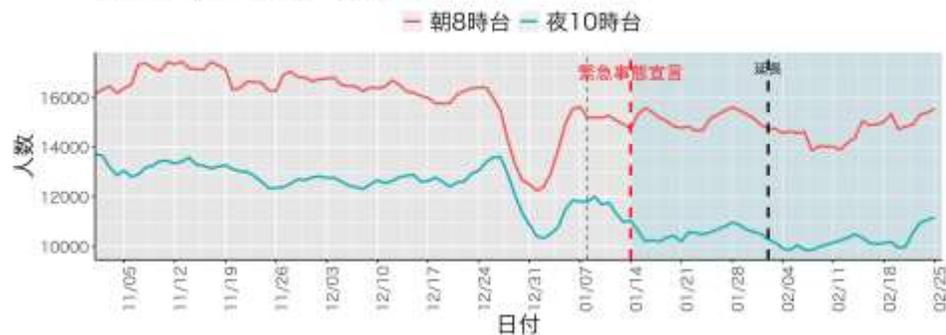
場所	時間帯	2月25日時点	最大減少幅
祇園	朝8時台	-0.29%	-14.6%
	夜10時台	-10.8%	-23.2%
京都駅	朝8時台	9.1%	-4.3%
	夜10時台	0.86%	-25.7%

兵庫

三ノ宮駅



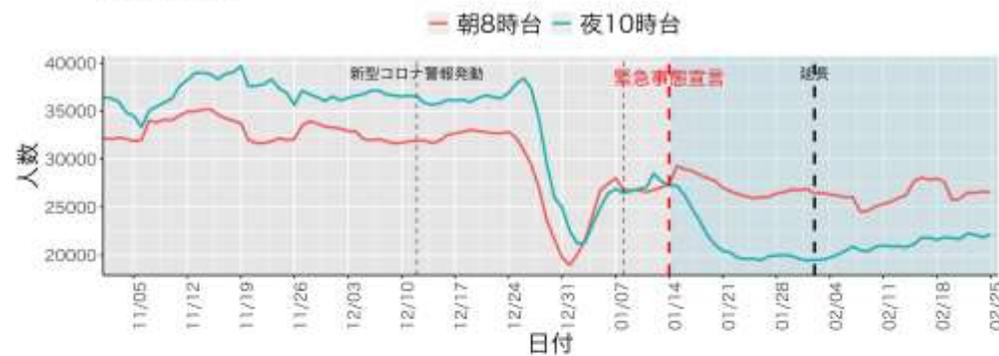
神戸市 元町エリア (南京町)



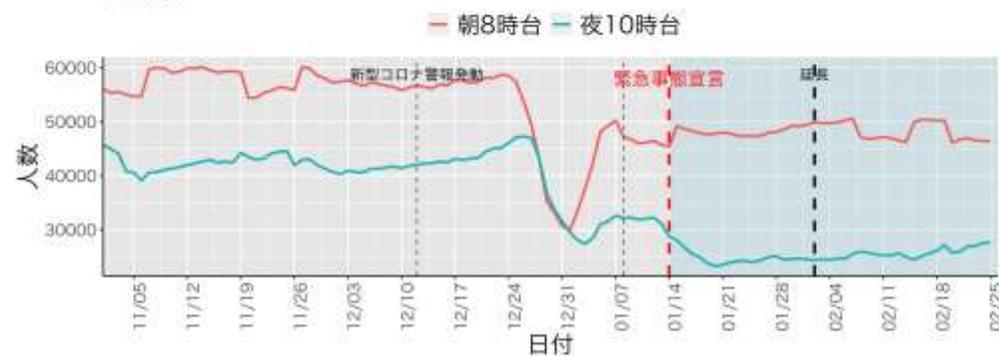
場所	時間帯	2月25日時点	最大減少幅
三ノ宮駅	朝8時台	-3.9%	-12.2%
	夜10時台	-31.6%	-38%
神戸市 元町エリア (南京町)	朝8時台	-0.54%	-11.5%
	夜10時台	-5.5%	-16.7%

福岡

中洲川端駅



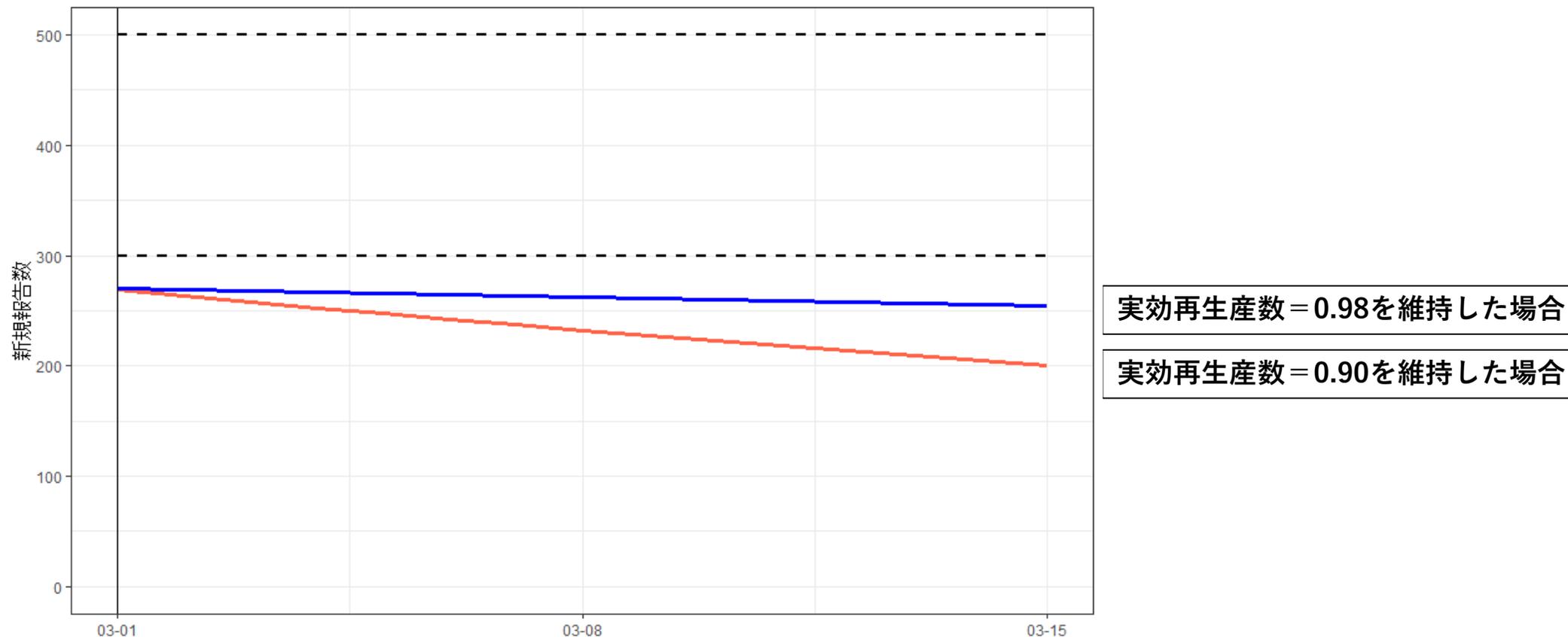
天神駅



場所	時間帯	2月25日時点	最大減少幅
中洲川端駅	朝8時台	-5.2%	-12.5%
	夜10時台	-17.6%	-27.6%
天神駅	朝8時台	-7.7%	-9.6%
	夜10時台	-15.4%	-28.7%

シミュレーション：東京都を想定（3月2日作成）

3月1日時点での一日の新規報告数を270と仮定



直近（7週：2/15~2/21）のインフルエンザ動向

サーベイランス指標（情報源）	レベル	トレンド	コメント
定点当たりのインフルエンザ受診患者報告数（NESID*、約5000定点）	低 (0.01 [患者報告数49例])	微減	52週69例、53週69例、1週73例、2週65例、3週64例、4週64例、5週98例、6週56例、7週49例
全国の医療機関を1週間に受診した推計患者数（NESID*、推計）	低	横ばい	約0.1万人（95%信頼区間：0~0.1万人）
基幹定点からのインフルエンザ入院患者報告数（NESID*、約500定点）	低	横ばい	52週6例、53週9例、1週7例、2週8例、3週3例、4週8例、5週4例、6週8例、7週8例
病原体定点からのインフルエンザウイルス分離・検出報告数（NESID*、約500の病原体定点）	低	微増	3/1現在、36週以降、43~44週に2例（A(H1)pdm09）、6週にA(H3)2例（データは毎日自動更新）
インフルエンザ様疾患発生報告数（全国の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校におけるインフルエンザ様症状の患者による学校欠席者数）	低 (休校0、学年閉鎖1、学級閉鎖0)	横ばい	36週以降、37週に学年閉鎖1、43週に学級閉鎖1、44週に学級閉鎖1、45~5週は0、6週は学年閉鎖1、学級閉鎖1、7週は学年閉鎖1
国立病院機構におけるインフルエンザ全国感染動向（全国141の国立病院機構各病院による隔週インフルエンザ迅速抗原検査件数、陽性数）	低 (2/1~2/15:検査数2404、陽性数0例、陽性率0%)	微減	0例（1月後半はA型3例。1月前半はA型2例B型1例。12月後半はA型4例。）（検査は、診察医師の判断による）
MLインフルエンザ流行前線情報データベース（主に小児科の有志医師による自主的なインフルエンザ患者報告数〔迅速診断検査〕）	低	横ばい	3/1現在、12月以降、12/2にA型1例、12/18にB型1例、12/25にA型1例、1/4にB型1例、1/9にB型1例、1/18にB型1例、2/3にA型1例（データは毎日自動更新）

*2021年第1週からレベルマップ開始：https://nesid4g.mhlw.go.jp/Hasseidoko/Levelmap/flu/new_jmap.html

2月25日までに把握された新規変異株陽性例（188例）の基本特性

	国内 n=145	検疫 n=43
渡航歴なし	135 (93%)	0 (0%)
渡航歴あり	10 (7%)	43 (100%)
渡航先の内訳		
英国	5	19
UAE	1	6
ブラジル	1	4
南アフリカ		5
ナイジェリア		4
その他/確認中	3	5

	国内 n=145	検疫 n=43
変異株		
英国株	139 (96%)	32 (74%)
南アフリカ株	4 (3%)	7 (16%)
ブラジル株	2 (1%)	4 (9%)
性別		
男性	71 (49%)	22 (51%)
女性	74 (51%)	21 (49%)
年代		
10歳未満	31 (21%)	2 (5%)
10代	9 (6%)	5 (12%)
20代	16 (11%)	4 (9%)
30代	28 (19%)	17 (40%)
40代	24 (17%)	10 (23%)
50代	16 (11%)	3 (7%)
60代	10 (7%)	1 (2%)
70代	2 (1%)	1 (2%)
80代	2 (1%)	0 (0%)
90代以上	6 (4%)	0 (0%)
確認中	1 (1%)	0 (0%)

2月25日までに把握された新規変異株陽性例（188例）の公表日別の症例数

